

# 青木かずのり県政報告

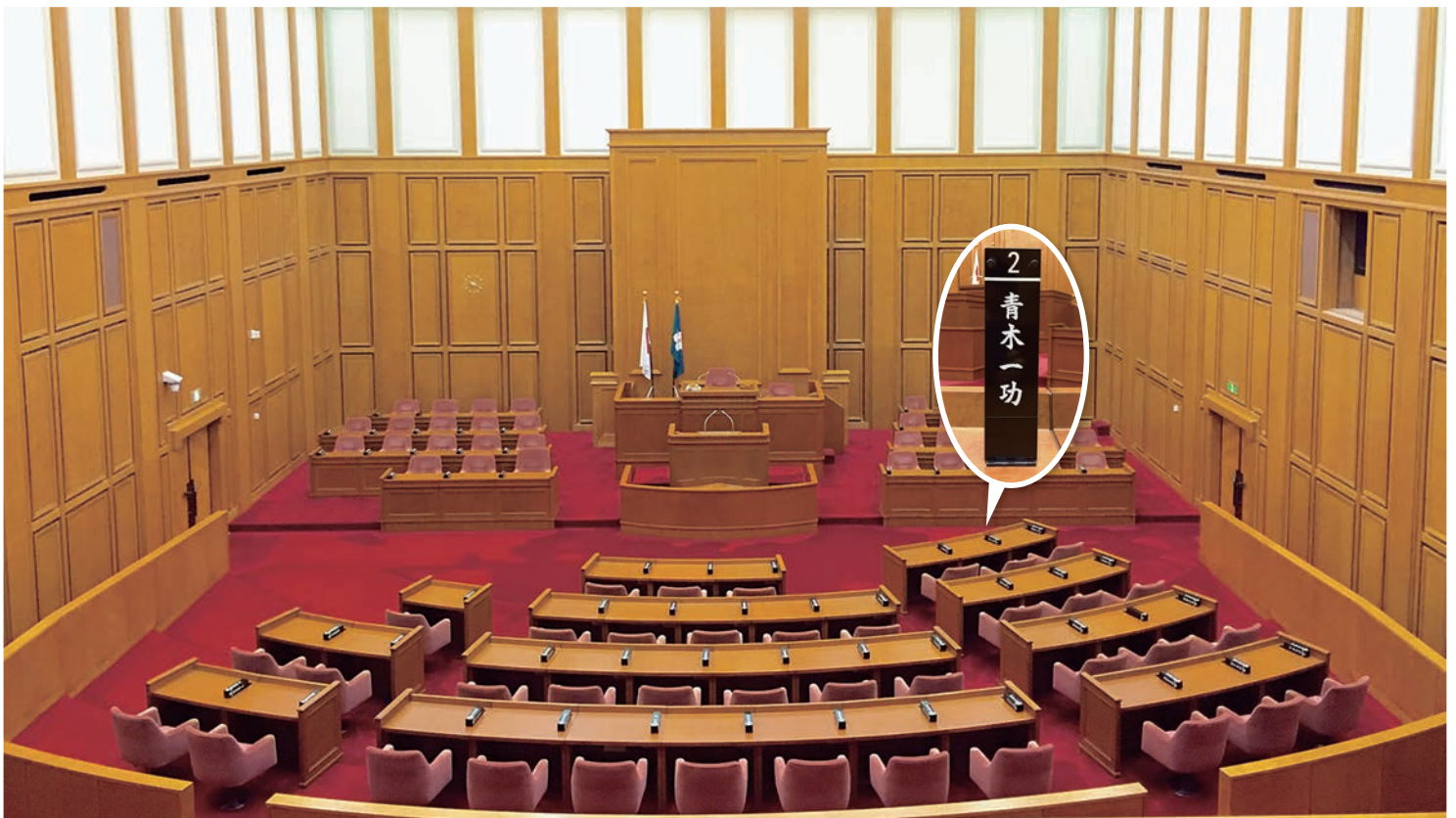
Vol.  
**3**



 一般質問

 地域活動

11月定例県議会が開会、12月3日一般質問で登壇!!



 問1

キャリア教育の推進について

 問2

有田焼創業400年事業について

 問3

外国人による犯罪について

 問4

佐賀県国民保護計画について

## 問1 キャリア教育の推進について

社会的・職業的自立に向けた能力や態度の育成等を目指すキャリア教育と職場体験学習を佐賀県においても充実させていくことが必要です。文部科学省では、第2期教育振興基本計画において、社会を生き抜く力の養成の中で生きる力の確実な育成として、自ら学び、考え、行動する力など生涯にわたる学習の基礎を確実に育てることを目指しています。

私は質問の中で、自衛隊への職場体験学習が大いに現代の学生たちには役に立つものだと伝えました。内容は、基本教練として挨拶の徹底、気を付けや礼などの所作、集団行動、緊急時災害時のロープの結び方や護身術など、これこそ生きる力を育む実践教育がおこなわれています。現場の話では、今の学生は、頭は良いが、体力が以前に比べて落ちているそうです。現代は厳しいことや、困難なことから目を背けるような傾向があります。しかし、厳しさや困難を伴うようなことから学び、体験を通じて生きる力を身体で覚えることも重要であると確信します。

陸上自衛隊目達原駐屯地で職場体験学習を経験した、中学生の学習後のお礼の手紙の一部を紹介させていただきます。「自衛隊員の皆さまを見ていると、普段の生活でも守られていると思い、とても安心できると共に、守ってくれているという感謝の気持ちで一杯です。この学習を通して、自衛隊の大変さや、国を守るという責任を改めて知ることができました。私が社会で働く時は、人の役に立つ、そして人様の幸せを守るような仕事につきたいです。」次の生徒は、「日本という国で私たちが平和に暮らせているのは自衛隊の皆さまのお陰だと思っています。この学習を通して、お仕事の大変さと大切さを知ることができました。私も将来、自衛隊に入りたいと思いました。本当に良い体験をさせていただきありがとうございました。」とあります。とても印象的だったのは、多くの手紙の中で、生徒たちと隊員の方々の心温まる絆が感謝の言葉から見えたことです。このように、自衛隊等の職場体験学習（キャリア教育）が学生たちの成長に大いに効果があることが解ります。



質問項目 答弁者：教育長

- ①キャリア教育の現状について
- ②職場体験学習やインターンシップの効果について
- ③今後の取組みについて

## 問2 有田焼創業400年事業について

2016年は日本磁器が誕生し、佐賀が世界に誇る有田焼が創業して400年目を迎える年です。400年事業を絶好の機会とし、世界が注目する日本の至宝、有田焼の更なるPRに向けて取組んでいくべきです。

江戸時代初期の1610年頃に肥前有田を中心とする地域で我が国の磁器産業は始まりました。17世紀中頃に磁器専門の生産体制が確立し、中国磁器にも見劣りしない品質の製品を生み出すにいたりました。それは、原料となる良質な陶石が身近かつ豊富に採掘できたことも理由として挙げられます。

有田焼産地の売上高の推移を見ますと、平成3年の全盛期から比べ、約6分の1に低減しております。様々な要因が考えられますが、低価格志向の高まりやライフスタイルの変化、大口ユーザーの需要縮小などが考えられます。

佐賀県内でも様々な取組みがあります。先日オープンした佐賀市のTSUTAYA積文館書店では、有田焼ギャラリーが設けられ、コーヒーカップ175点などを展示・販売され、鳥栖市の中学校の授業では、伝統文化である佐賀の焼き物を私たちの自慢として、有田焼や唐津焼の歴史や、磁器と陶器の違いについて学んだそうです。九州をつなぐ豪華寝台列車なつ星では、柿右衛門窯の洗面鉢やランプシェードが飾られ、車内で提供される料理には清六窯の食器が使用されています。様々な取組みを通じて、佐賀の焼き物の素晴らしさを、まずは、県内の人々に知っていただき、若者にも関心を持ってもらうことが最も重要です。

質問項目 答弁者：知事

- ①有田焼創業400年に向けた取組みについて
- ②オランダとの協定に基づいた取組みについて



### 問3 外国人による犯罪について

国内の来日外国人犯罪の総検挙件数及び人員は、平成の初期から増加傾向となり、検挙件数は平成17年に検挙人員は平成16年に、それぞれピークに達しましたが、警察や関係機関による総合的な施策により、不法残留者数が減少したこともあって近年は減少傾向にあります。しかし、来日外国人が組織的に犯罪を敢行しているのも現状です。平成26年中の刑法犯の検挙件数に占める共犯事件の割合は、35.1%と、日本人の共犯事件の割合12.7%の約2.8倍に上ります。

平成26年における来日外国人による一般刑法犯の検挙件数では窃盗が69.5%を占めています。傷害・暴行の検挙件数は、近年増加傾向にあり、平成26年は、16年と比較して約1.9倍となっています。平成26年における外国人新規入国者数は、1238万8748人で前年に比べ283万4333人と大きく増加し、過去最高となりました。地域別に見ると、アジアが80.2%を占め、観光等を目的とする短期滞在が97.3%となっています。

佐賀県では、佐賀県警察来日外国人犯罪対策室設置要綱が平成16年7月1日から運用開始されました。佐賀空港は、九州におけるゲートウェイ空港、そして国内外のハブ空港を目指します。愛称も、「九州佐賀国際空港」となります。訪日外国人客数増加に向けた取組みは着々と進んでおり、来日外国人の数も急増していくことは間違いありません。

佐賀県でも、更なる外国人観光客誘致を全力で推進していく必要があります。一方で、外国人による犯罪についても対策を講じ、佐賀空港の入国管理での水際対策など、犯罪を未然に防げるよう体制を整えるべきです。

#### 質問項目

答弁者：警察本部長

- ①本年の来日外国人犯罪の状況について
- ②来日外国人犯罪に対する取組みについて
- ③来日外国人の増加に対する今後の対策について



### 問4 佐賀県国民保護計画について

今議会で外国人による犯罪についての質問をしようと考え、県警察のほうへ資料要求をした翌日にフランス・パリで同時多発テロが起き、100名を超す方々が犠牲になりました。犠牲になられた方々に心から、哀悼の意を表するとともに、質問への想いを一層強く感じ、改めてテロなど有事の際の対策の重要性を認識しました。

今回の同時多発テロは、フランスが抱える様々な歴史的背景や社会情勢が原因だと思えます。国内でも今後、国際的なイベントが目白押しで、常日頃からの危機管理意識が一層重要だと実感します。そして佐賀県においても、対岸の火事と捉えるのではなく、対策をしていかなければなりません。

ある国の法律を紹介します。その国には、国防動員法という法律があります。この法律は、例えばその国の政府が特定の国に対し有事と判断した場合、その国に進出している外国企業を含め、あらゆる組織、人、物の徴用を合法化し、統制下におくことが可能だとしています。この法律の問題点は、国外に滞在中のその国の国籍保持者に対しても国防を担う義務を課すことができるという点です。万が一、法律が発令されれば、国外で兵站や後方支援などの活動が想定されます。もちろん有事の定義があいまいで、このような法律が即適応されるとは考えにくいと思われま

す。その一方で国民、領土、主権を守るための安全保障関連法案でさえ、まとまらなかった日本に対し、他国では様々な形の法的整備を着々と進めていることを認識しておく必要があります。

常に万が一の事態を想定した対応を準備しておくことが重要です。県民の生命、身体及び財産を守ることは、県として最優先に取り組むべきです。

佐賀県は、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、第34条の規定に基づき、住民の生命、身体及び財産を保護するため佐賀県国民保護計画を作成しています。

国が有事と判断した場合は総務大臣から知事へ通知され、各関係機関へ通知協力の運びとなっています。ただし有事の際であり、佐賀県国民保護計画が発令されないことが最も重要であるのは、強く認識しています。

しかし、あらゆる事態を想定し対応できる体制を整えておく必要があるのと同時に、佐賀県国民保護計画の存在を県民の皆さまに知っておいて頂きたいと質問に取上げました。

答弁者：知事

## 佐賀の宝1

佐賀県重要無形文化財、肥前名尾和紙の工房を訪問しました。

原材料は自家栽培の梶の木、手漉き作業をされる職人一人ひとりに合わせた道具もあります。

佐賀市内の全ての中学校、そして多くの小学校と高校の卒業証書に名尾和紙が使用されています。手間と時間を掛け、磨かれた技術と高品質、そして一枚一枚に気持ちを込めた丁寧な仕事、日本が引き継いでいくべき佐賀の宝です。



肥前名尾和紙

## 佐賀の宝2

佐賀が世界に誇る窯元を巡りました。柿右衛門窯、黒牟田焼丸田窯、清六窯、今右衛門窯、深川製磁、香蘭社、源右衛門窯と回りました。

柿右衛門窯では特別に窯焚きの現場を拝見できました。40時間、薪を使用し1300度になるまで交代で窯を見守られています。佐賀の宝を拝見し、一切妥協しない作品への熱い愛が至極の一品を生み出すことがわかりました。



柿右衛門窯



## 陸上自衛隊目達原駐屯地

目達原駐屯地を訪問し、職場体験学習についてお話を伺いました。国防の第一線を担われる隊員の方々に敬意を表します。駐屯地内もご案内いただきました。



## 北山東部小学校ふれあい餅つき会

山村留学実施校、佐賀市立北山東部小学校のふれあい餅つき会に参加しました。

地域と学校が共に助け合う姿こそ、佐賀の力のひとつです。

餅つきの後、子どもたちや関係者の方々と一緒にお餅を美味しくいただきました。



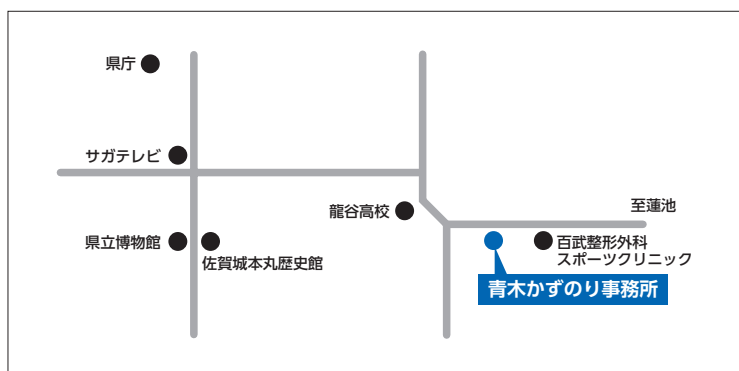
## 青木かずのり活動報告

11月 経営者モーニングセミナーにて講演  
森山農林水産大臣との意見交換会出席  
龍造寺八幡神社秋季例大祭参列  
ジョブカフェSAGA訪問  
富士町及び三瀬村ふれあい祭り参加  
子育て支援講座出席  
生命尊重ブロック研修会出席  
東京：地方議会活性化シンポジウム2015出席  
東京：都道府県議会議員研究交流大会出席  
東京：靖国神社参拝  
東京：有明海沿岸道路要請活動  
九州矯正展訪問  
議員と学生による交流会出席  
有明海沿岸道路大川佐賀道路着工式参列

12月 どうようひろば訪問  
常任委員会視察 佐賀県ヨットハーバー視察  
グリーンパークさが視察  
北山東部小学校授業参観  
ICT活用教育フェスタ参加

## 青木かずのり事務所

〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目1-43  
TEL 0952-97-9323 FAX 0952-97-9324  
公式HP <http://aokikazunori.com>  
E-mail [aoki.saga@gmail.com](mailto:aoki.saga@gmail.com)



facebookとtwitter随時更新中